September 29, 2020

ＡＬＰＴ通信

令和２年度第 10 号
静岡県総合教育センター
アクティブ・ラーニングプロジェクトチーム

限られた時間の中で、効果的に学習を進めるには？②
－質の高いハイブリッドを目指す－

「ハイブリッド」とは？

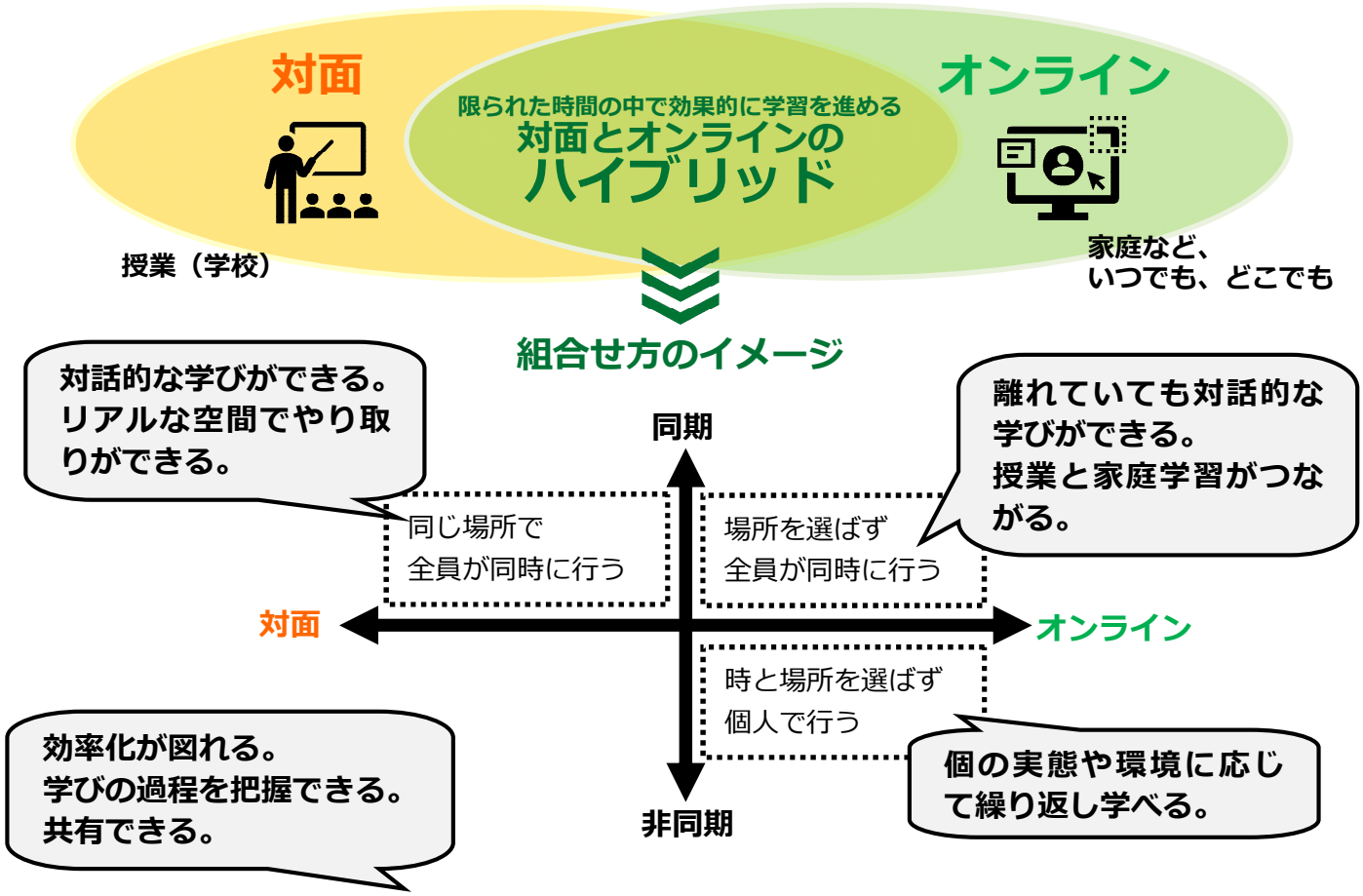
第９号では、授業と家庭学習のハイブリッドによる学習活動の重点化について考えました。

「ハイブリッド」とはどのような意味で使われるのでしょう。 広辞苑には、「異種のものを組み合わせたもの」とあります。お馴染みは、車ですね！　ハイブリッドカーの動力源は２つ（ガソリン⇔電気モーター）で、速度によって動力源を切り替えて走行する仕組みです。低速走行時に燃費が悪いというガソリン車の性質を補うことで、ガソリン車よりも燃費がよくなったり、環境への負荷も低減できたりします。

授業でこの用語を用いる場合も、あるものとあるもの、**ふたつの要素を組み合わせる**ことを言い、それによって一層の学習効果、例えば「効率化」などのメリットをもたらします。最近は、「ハイブリッド」とともに「ブレンド」「ブレンディッド」などの言葉も広く聞かれるようになりました。

何を組み合わせるのか

組み合わせる要素には、どのようなものがあるでしょう。コロナ禍の下で**いかにして子どもたちの学びを保障するのか？**が課題である今、以前にも増して注目されているのが、**対面⇔オンライン**の組合せです。



それぞれの特性を生かした組合せ方によって、最大の学習効果を引き出します！

September 29, 2020

組み合わせるにあたり、まず考えること

授業づくりにおける組合せには、他に次のような要素が考えられます。

A 一斉 ／ グループ	B 協働作業／個人作業	C 講義,説明／演習,協議
D 紙／ホワイトボード	E 黒板 ／ ＩＣＴ	F 話す・聞く ／ 書く

組み合わせるのは、「**学び**」そのもの

重要！

より効率的な（かつ質の高い）学びの実現を目指すために、授業形態やＩＣＴ活用など、それぞれの要素の「よさ」を組み合わせることで、一層の効果を生み出します。

その際、「**どのような学びを混ぜるか**」を念頭に置くことが大切です。

集まって、異なる視点に触れて初めて学べる ⇄ **１人でも、離れていても学べる**

❶ 子どもに何ができるようになってほしいのか？

- 身に付けさせたい力（目標）を設定する。
- 評価規準（概ね満足できる状態）を設定する。
- 目標を達成するための「解決したい課題や問い」を設定する。
- 「解決したい課題や問い」に対する子どもの解答を想定する。

❷ どのような学習活動が必要か？

- 「考えるための材料」（資料・教具・教材等）を用意する。
- 対話を通して思考が深まっていく場面を想定する。
- これらを通して、課題解決のプロセスを工夫する。

❸ 各学習活動の場面で、何のために○○○をどう使うのか？

（例）対話を通して思考が深まっていく場面で、他者の多様な視点を得るために…

A グループ ／ B 協働作業 ／ C 協議 ／ D ホワイトボード ／ F 話す・聞く

効果的な組合せにより、質の高いハイブリッドを目指す【例】

反転学習

オンライン（家庭）	対面（学校）	オンライン（家庭）
非同期	同期	非同期
「考えるための材料」を input ・先生が作成した説明動画（★）を視聴する。 ・関連する動画をインターネットで視聴する。 ・教科書や資料を読む。 **自分の考えを output** ・「解決したい課題や問い」に対する自分の考えを入力する。	**「対話と思考」** ・事前に視聴した動画や、読んできた資料に基づいて、課題解決に向けたグループワークを行い、他者の考えを共有する。 ・実技や実習などリアルな空間でしかできないことを重点的に行う。	**「対話」を output** ・グループごとにオンラインホワイトボードにまとめる。 ・グループ間で共有する。 **自分の考えを output** ・自分の考えを再度入力する。 ・振り返りを入力する。

より効果的なＩＣＴ活用を！（★）

▲一方向型（先生が板書しながら説明する）授業をビデオで撮影して同時双方向で配信（同期）

○板書内容をスライドにまとめて説明を録音し、動画にして配信（非同期）

（今回は高等学校支援課が担当しました）